

中島村
第6次総合振興計画

2025年度(令和7年度)

事業評価

中島村第6次総合振興計画 2025年度（令和7年度）評価一覧表

◎本事業評価は、2026年度（令和8年度）に実施しました。

◎評価は一次～三次の順に行っています。

一次評価・・・役場各部署職員。

2026年3月5日～4月10日

二次評価・・・施策評価委員会（教育長、役場各課長等）。

2026年6月11日

三次評価・・・総合開発審議会（村外部機関の長等）。

2026年7月24日

◎評価はA～Cの三段階です。

●総合評価・・・事業の有効性、社会経済情勢の変化に基づき、以下の基準で判断する。

A（順調）

おおむね期待どおりの成果が得られており、特に問題等もなく順調に進んでいる事業。

B（改善の余地あり）

目標達成に向けて遅れがみられる、又は、事業の一部に改善の余地がある事業。

C（見直し必要）

目標達成に向けて大幅な遅れが見られる、又は、事業内容を大きく見直す必要がある事業。

【基本目標 1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら】

施策 番号	施策	個別 番号	個別事業	主幹課 担当課	個別 評価	1 次 評価	2 次 評価	3 次 評価
1	子育て支援の推進			保健福祉課				
		①	相談体制の充実	保健福祉課	A	A	A	A
		②	子育て事業の周知	保健福祉課	A			
2	子育て家庭の負担軽減			学校教育課				
		①-1	保育料等無料化事業	保育所	A	A	A	A
		①-2	保育料等無料化事業	幼稚園	A			
		②	給食費無料化事業	幼稚園	A			
		③	ひとり親家庭医療費 助成事業	保健福祉課	A			
3	保育所の充実			保育所				
		①	保育所施設の整備	保育所	A	A	A	A
		②	ICT 関係の導入	保育所	A			
		③	地域子育て支援事業	保育所	A			
		④	保育士の資質向上	保育所	A			
4	教育活動の充実・支援			学校教育課				
		①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課	A	A	A	A
		②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	A			
		③	健やかな体を育む教育の推進	学校教育課	A			
5	国際理解教育の推進			学校教育課				
		①	マレーシアへの修学旅行	学校教育課	A	A	A	A
		②	異文化体験学習	学校教育課	A			
		③	外国語指導助手の配置	学校教育課	A			
6	安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実			学校教育課				
		①	各教育施設の修繕改修	学校教育課	A	A	A	A
		②	大規模改修計画	学校教育課	A			
		③	プールの安全管理	学校教育課	A			

7	幼児教育の充実			幼稚園			
		①-1	幼・保・小の連携・ 接続	幼稚園	A	A	A
		①-2	幼・保・小の連携・ 接続	保育所	A		
		②	幼児教育の充実	幼稚園	A		
		③	教育環境の整備充実	幼稚園	A		
		④	教職員の資質向上	幼稚園	A		
8	子どもの健全育成を 目指す児童館運営の充実			児童館			
		①	児童クラブの充実	児童館	A	A	A
		②	子育て支援・体制交 流活動の充実	児童館	A		
		③	学習支援の充実	児童館	A		
		④	職員の資質向上	児童館	A		
9	自己を磨き続ける生涯 学習活動の推進			生涯学習課			
		①	社会教育団体・文化 団体等への活動支援	生涯学習課	A	A	A
		②	学習機会の拡充と学 習内容の充実	生涯学習課	A		
		③	文化活動の推進	生涯学習課	A		
		④	地域・学校・家庭の 連携とボランティア 活動の推進	生涯学習課	A		
10	生涯学習環境の整備・充 実			生涯学習課			
		①	生涯学習センター輝 ら里の適正管理・有 効活用	生涯学習課	A	A	A
		②	各種イベント開催に 対応した施設整備	生涯学習課	A		
		③	生涯学習情報の提供	生涯学習課	A		
		④	図書室の利用促進	生涯学習課	A		

11	文化財保護と伝統文化の継承			生涯学習課			
		①	文化財の保護と村民への周知	生涯学習課	A	A	A
		②	伝統文化の継承活動支援	生涯学習課	A		
		③	四穂田古墳出土品の活用	生涯学習課	A		
12	生涯にわたるスポーツライフの推進			生涯学習課			
		①	スポーツ指導者の育成	生涯学習課	A	A	A
		②	地域スポーツ活動の推進	生涯学習課	A		
		③	スポーツ施設の整備・改修	生涯学習課	A		
13	人材育成の推進			企画振興課			
		①	人材育成支援事業	企画振興課	B	A	A
		②	人材育成事業	企画振興課	A		

【基本目標2 みんながいきいき暮らせるむら】

14	健康づくりの推進			保健福祉課			
		①	各種健診及び検診の実施	保健福祉課	A	A	A
		②	健康意識の高揚	保健福祉課	A		
		③	受診勧奨、保健指導の充実	保健福祉課	A		
15	豊かなシニアライフ			保健福祉課			
		①	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	保健福祉課	A	A	A
		②	介護予防事業の推進	保健福祉課	A		
		③	ふれあいサロン事業	保健福祉課	A		
		④	地域包括ケアシステムの充実	保健福祉課	A		
16	障がい者への支援			保健福祉課			
		①	適正な福祉サービスの提供	保健福祉課	A	A	A
		②	障がい者への情報発信	保健福祉課	A		
17	見守りの強化・支援			保健福祉課			
		①	見守りネットワーク体制の確立	保健福祉課	A	A	A
		②	成年後見制度の利用支援	保健福祉課	A		
		③	家族介護への支援	保健福祉課	A		
		④	福祉相談活動の充実	保健福祉課	A		

【基本目標３ みんなで作り上げるむら】

18	地域コミュニティの活性化			住民生活課				
		①	行政区加入推進活動	住民生活課	A	A	A	A
		②	行政区運営にかかる助成	住民生活課	A			
19	村民の行政参画			総務課				
		①	パブリックコメントの募集	総務課	A	A	A	A
20	行政サービスのＤＸ			総務課				
		①	中島村ＤＸ基本方針の策定	企画振興課	A	A	A	A
21	職員の人材育成			総務課				
		①	人事評価制度の活用	総務課	A	A	A	A
		②	職員研修の充実	総務課	A			
22	健全な財政の維持			総務課				
		①	納税者が納税しやすい体制整備	税務課	A	A	A	A
		②	ふるさと納税の拡充	企画振興課	A			
23	男女共同参画			総務課				
		①	女性委員（役員）の積極的な登用		A	A	A	A

【基本目標 4 安全・安心して暮らせるむら】

24	防災体制の充実			住民生活課			
		①	防災情報発信手段の充実	住民生活課	A	A	A
		②-1	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	住民生活課	A		
		②-2	ハザードマップで危険箇所指定されている箇所への対応	建設課	A		
		③	防災組織・協力関係の強化	住民生活課	A		
		④	防災用品等の拡充	住民生活課	A		
25	消防体制の確立			住民生活課			
		①	消防体制の維持・強化	住民生活課	B	A	A
		②	消防設備更新	住民生活課	A		
		③	各種災害訓練	住民生活課	A		
26	防犯・交通安全の充実			住民生活課			
		①	防犯施設整備	住民生活課	B	A	A
		②	防犯意識の高揚	住民生活課	A		
		③	交通安全対策	住民生活課	A		
27	医療体制の確保			保健福祉課			
		①	救急医療体制の充実	保健福祉課	A	A	A
		②	県南地方の医師確保	保健福祉課	A		
28	風評被害払拭			住民生活課			
		①	自家消費野菜等放射線量測定事業	住民生活課	A	A	A
		②	ブランドイメージ回復支援事業	企画振興課	A		

【基本目標5 環境豊かで快適な住みよいむら】

29	道路の整備			建設課			
		①	道路の整備	建設課	A	A	A
		②	歩道（通学路）の整備	学校教育課	A		
		③	県道（バイパス）整備の推進	建設課	A		
		④	農道長寿命化事業	建設課	A		
		⑤	道路・橋梁の維持管理	建設課	A		
30	簡易水道施設の維持管理			建設課			
		①	簡易水道施設の維持管理	建設課	A	A	A
		②	施設機器等の計画的な更新	建設課	A		
		③	水道本管等の漏水調査・更新	建設課	A		
		④	第三水源（井戸水）及び浄水場の維持管理	建設課	A		
31	農業集落排水処理施設の維持管理			建設課			
		①	農業集落排水処理施設の維持管理	建設課	A	A	A
		②	処理施設等機器の計画的な更新	建設課	A		
		③	不明水対策等の実施	建設課	A		
32	童里夢公園の整備・活用			建設課			
		①	遊具の点検、修繕	建設課	A	A	A
		②	設備の計画的な修繕	建設課	A		
		③	遊歩道の整備	建設課	A		
33	農村公園及び地区公園の整備			建設課			
		①	農村公園・地区公園の活用	建設課	A	A	A

34	住宅環境の整備			建設課				
		①	耐震診断者派遣事業の活用	建設課	A	A	A	A
		②	公営住宅長寿命化計画による計画的な修繕	建設課	A			
35	地域交通体制の充実			住民生活課				
		①	デマンド交通の住民への周知	住民生活課	A	A	A	A
		②	デマンド交通利用者アンケート実施	住民生活課	A			
36	環境への取り組み			住民生活課				
		①	ごみの減量化・リサイクルの促進	住民生活課	A	A	A	A
		②	生垣整備事業	企画振興課	B			
		③	記念樹交付事業	企画振興課	A			
37	移住・定住の促進			企画振興課				
		①	移住定住 PR パンフレット作成業務	企画振興課	A	A	A	A
		②	福島県移住支援金給付事業	企画振興課	B			
38	移住・定住環境の整備			建設課				
		①	空き家調査	建設課	B	A	A	A
		②	空き家バンクの導入	建設課	A			
		③	原山分譲地の販売	建設課	A			

【基本目標6 地域の活力を活かしたむら】

39	土地の有効利用			企画振興課				
		①	国土利用計画の見直し	企画振興課	B	A	A	A
		②	農業振興地域整備計画の見直し	企画振興課	A			
		③	地域森林計画の見直し	企画振興課	A			
40	農業の支援・振興			企画振興課				
		①	多様な担い手の確保・育成	企画振興課	B	B	B	B
		②	地域計画（人・農地プラン）	企画振興課	A			
		③	農地流動化対策の推進	企画振興課	B			
41	有害鳥獣への対応			企画振興課				
		①	有害鳥獣駆除	企画振興課	A	A	A	A
		②	担い手の育成	企画振興課	B			
		③	有害鳥獣被害防止の支援	企画振興課	A			
42	企業誘致と雇用の確保			企画振興課				
		①	企業誘致の推進	企画振興課	B	A	A	A
		②	既存企業との連携強化	企画振興課	A			
43	商業の支援			企画振興課				
		①	村内外から集客できる魅力ある商店づくりの支援	企画振興課	A	A	A	A
		②	商業の支援	企画振興課	A			
44	観光基盤の整備			企画振興課				
		①	観光基盤の充実や誘客の推進	企画振興課	A	A	A	A
		②	特産品の開発	企画振興課	B			

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策1 子育て支援の推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 母子健康手帳交付、離乳食教室、乳幼児健診（1ヶ月児・4ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児）、乳幼児健康相談（9～10か月児・2歳児）等で相談業務を実施した。妊婦のための支援給付金を支給した。
- 子育てに関するリーフレット等の配布により、子育て支援事業の周知を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 子育て世帯の相談業務により、相談者の不安や悩みをその都度解決や軽減ができた。継続して相談する方もいて、切れ目のない支援を実施することができた。妊婦のための支援給付金、不妊治療費等の助成も行っている。
- 支援を必要としている人に、子育て支援事業を利用してもらうため、引き続き周知を行っていく。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
心理相談・乳幼児健診等相談業務	1,594		
出産応援交付金	2,700		
		合計	4,294

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 今後も相談業務を実施し、切れ目のない支援を継続していく。
- 他市町村でも取り組んでいる、自治体独自の子育てに関するガイドブックの作成を検討する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策2 子育て家庭の負担軽減
施策主幹課	保健福祉課
関係課	学校教育課、保育所、幼稚園

2025年度の取り組み

- 保育料の無料化により、子育て世帯への経済的支援を行った。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）は、条件を満たせば無料化とする。
- 中島村在住の保護者を対象に、村内の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費を無料とした。
- 村外の幼稚園、小学校、中学校に通う児童生徒の給食費に対して補助金を交付する施策を展開した。
- ひとり親家庭への医療費助成を行った。

施策の評価	総合評価	A
-------	------	---

- 入所児童47名（全世帯）の保護者負担を軽減することができた。
- 幼稚園の保育料（預かり保育料等）無料化を継続して実施し、子育て家庭への負担軽減を図ることができた。
- 受益者にとってこの施策は大きなメリットであるため、今後も継続していきたい。
- 納付金の滞納がないことを条件とするため、納付金の納付促進にも寄与している。
- ひとり親家庭への医療費助成により、健康と福祉の増進が図られた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
保育料の無料化	9,401	ひとり親家庭医療費助成	755
幼稚園保育料等の無料化	876		
給食賄材料費	34,626	合計	45,658

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 保育料の無料化を継続し、子育て世帯の負担を軽減する。
- 引き続き、産み育てる環境や働きやすい環境づくりの推進をしていく。
- 引き続き、子育て家庭への経済的支援として、幼稚園保育料等の無料化を継続していく。
- 給食費無料化事業を引き続き実施していくとともに、定期的な調査を行い滞納金の納付を促していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策3 保育所の充実
施策主幹課	保育所
関係課	

2025年度の取り組み

- 月1回、安全点検と避難訓練の実施。
- 毎年実施の保育所での「引き渡し訓練」は、大規模災害を想定し第3次避難場所(改善センターグラウンド)での引き渡しを実施した。
- 有事の際の対策として、「熊除け鈴」「玄関チャイム」を取り入れた。
- コドモンアプリを導入し、保育所のおたより全般(感染症の状況、お弁当等のお知らせなど)に活用した。
- デイサービス訪問を実施し、高齢者との交流を図った。
- 登録していない乳幼児の一時預かり利用について、保護者の育児軽減、通院、兄弟の行事など、保護者のニーズに対応して受け入れた。
- キャリアアップ研修会や、地区の研修会など自発的に出席した。また、研修後は会議等で研修内容の伝達を実施している。
- 年1回、職員の自己評価を実施し、その結果を保護者へ公表した。

施策の評価	総合評価	A
-------	------	---

- 安全対策や災害対策を強化することにより、より安心安全な保育ができた。
- 不審者侵入対策として、各クラス出入口を施錠している。保護者の送迎時は速やかに引き渡しができるように「玄関チャイム」を設置し安全対策に努めた。
- 感染症状況について、保護者へいち早く情報を提供することができ、感染症の蔓延を防ぐことができた。
- コドモンアプリの活用でおたよりの配信をすることにより、紙の削減になった。
- 高齢者との交流の中で、親しみや温もりを間近で感じる良い機会となった。
- 年間で一時利用の登録を実施していることで、急な利用でも対応でき、保護者支援につながった。
- 令和8年度から「こども誰でも通園制度」を導入するにあたり、保健福祉課と連携をとり、保育所側の受け入れ体制を整えていく必要がある。
- それぞれ、自己課題に沿った研修に参加し、更に、研修受講後の伝達を実施することでスキルアップにつながっている。また、古い情報から現時点の新しい情報を得る事ができている。
- 自分で学びたい研修を選んで、学びを深めようとする向上心につながった。
- 自己評価を実施したことで、保育の振り返りができ、より良い保育につながっている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
熊除け鈴購入	6	玄関チャイム	6
中島保育所保育システム(コドモン)	66		
一時預かり事業の無料化	273	合計	351

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 引き続き点検を実施しながら安全対策を実施するとともに、災害時の対応として必要な用品等を購入し、万が一に備えていく。
- コドモンアプリは更に幅広い対応ができるように利便性を図っていく。（連絡帳機能の活用、写真配信等）
- 高齢者との交流については、計画的に進めていく。
- 一時利用について、定期的な利用者がいるため保護者のニーズに対応しながら継続的に実施していく。また令和8年度から「こども誰でも通園制度」実施することから、対応に向けて検討していく。
- 引き続き、研修会の内容を周知し、全員が積極的に受講できる体制を作っていく。
- また、研修の伝達を実施していくことで、保育の質の向上を図っていく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策4 教育活動の充実・支援
施策主幹課	学校教育課
関係課	

2025年度の取り組み

- 5/2 第1回中島村学力向上推進会議
- 7/10~11 学力向上推進事業 教員等研修視察
- 8/22 学力向上研修会
- 10/8 第2回中島村学力向上推進会議
- 11/7 学力向上推進研修会
- 1/23 第3回中島村学力向上推進
- 〔人権教育出前授業〕滑津小、吉子川小、中島中それぞれで、いじめが最大の人権侵害であることなどを学習。
- 〔四穂田古墳出土品歴史学習〕県立博物館学芸員による、四穂田古墳やその出土品短甲試着等の体験授業を実施。
- 〔郷土学習〕四穂田古墳、富士工業、下水処理場見学を実施。
- スポーツフェスティバルへの参加。
- 栄養教諭と養護教諭による食育の授業、テーブルマナーなどのユニークな取り組みや給食センターを訪問し、実際に調理場及び調理の現場を見学することで食への関心を持たせ、食と体と健康の関係を学習させた。
- 中学校においては今年度10回、(株)日本実業から講師を招聘し運動指導を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 現場の教員、保護者の代表が、直接学力向上の先進地を視察することにより、個人の実践ではなく学校の体制が、学校としての学力向上につながっていることを実感でき、共通実践事項の策定につながった。
- いじめについて、日常の指導に加えて、外部の方からも「人権」という観点から指導いただくことでいじめは絶対にいけないものであるという意識をより強く認識させる方策となった。
- 給食センターの見学は、幼稚園から3年をスパンに学年を指定して実施しており、食に対する興味と理解、個々の成長が図れる。
- 運動指導、食育等の事業は即時に結果はでないものの、継続して続けることにより個人では幼稚園から中学校までを通して、世代では先輩から後輩へ食育と体育、食に対する理解の涵養と体の育成に寄与できるものである。

事業実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
中島村学力向上研修会	220		
師範授業及び教育講演会	250		
運動指導	100		
部活動県大会等補助金	1,029	合計	1,599

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
「学校に行くのは楽しいと思いますか」全国学力テスト結果（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）（小学校）（％）	目標値	93.0	93.2	93.5	93.7	94.0
	実績値	72.3	97.2	95.0		
	達成度	77.7%	104.3%	101.6%		
「学校に行くのは楽しいと思いますか」全国学力テスト結果（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）（中学校）（％）	目標値	72.7	73.0	73.2	73.5	73.7
	実績値	88.8	84.8	93.9		
	達成度	122.1%	116.2%	128.3%		
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（小学校）（％）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	98.1	100.0	100.0		
	達成度	98.1%	100.0%	100.0%		
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（中学校）（％）	目標値	98.2	98.4	98.6	98.8	99.1
	実績値	100.0	97.0	100.0		
	達成度	101.8%	98.6%	101.4%		
「自分には良いところがあると思いますか」（小学校）（％）	目標値	98.3	98.5	98.7	98.9	99.1
	実績値	84.3	97.2	89.9		
	達成度	85.8%	98.7%	91.1%		
「自分には良いところがあると思いますか」（中学校）（％）	目標値	70.9	74.0	78.0	82.0	85.4
	実績値	72.2	85.0	98.0		
	達成度	101.8%	114.9%	125.6%		

今後の取組

- 現在の内容で学力向上研修を継続し、研修で得たことを共通実践事項として、全員が実践を行うよう啓発を図る。また、校内研修等での授業参観を通して実践状況を確認する。
- いじめ問題について関係各所が連絡調整を行う「いじめ問題対策連絡協議会」については毎年開催。いじめが起きた場合に調査等を行う「いじめ問題専門委員会」については隔年で開催し、常にいじめの防止に向けての体制の確認・いじめ防止基本方針の見直しを行うとともに、認知した場合速やかな対応ができるよう体制を整える。
- 今後も運動指導を取り入れ、また部活動の支援などと給食センターを軸にした食育を実施していく。

基 本 目 標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施 策 名	施策5 国際理解教育の推進
施策主幹課	学校教育課
関 係 課	

2025 年度の取り組み

- 昨年度に引き続き、マレーシアへの修学旅行を実施した。
- 小学校 6 年生、中学校 1～3 年生を対象に、ブリティッシュヒルズにて異文化体験活動を行った。
(小学校 6 年生は一泊、中学生は日帰りで実施)
- 外国語指導助手を 2 名配置することによって、各学校での英語教育の充実化を図った。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 教育委員会として数回保護者への説明を行い、修学旅行実施の承諾を得ることが出来た。
- 修学旅行に参加した生徒たちからは「行ってよかった」、「外国に興味を持った」などの意見が多数聞かれ、国際社会への興味関心の向上が見て取れた。
- 天栄村にあるブリティッシュヒルズでの異文化体験活動を小学 6 年生から中学 3 年生までの 4 年間にわたって実施し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図っている。
- 外国人指導助手を配置することによって、小・中学校で行われる外国語教育の充実へと繋がった。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
中島中学校海外修学旅行補助金	14,311	中学校異文化体験学習委託料等	1,656
修学旅行引率者委託(教育委員会)	307	ALT 設置費用	4,962
小学生異文化体験活動	1,807	合 計	23,043

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
マレーシアでの研修は有意義であったかのアンケート満足度（%）	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	97.3	97.2	94.4		
	達成度	108.1%	108.0%	104.9%		
外国語指導助手配置（人）	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	2	2		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
異文化体験学習（回/年）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4	4	4		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

今後の取組

- 今後もマレーシアへの修学旅行を実施し、グローバルな感性を持てる人材育成を行う。
- 今後も継続してブリティッシュヒルズでの体験活動を実施し、英語に慣れ親しむ機会の提供及び英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。
- 今後も継続して外国語指導助手を確保・配置に努め、英語教育の充実に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策 6 安全・安心な学校施設の整備と教育環境の充実
施策主幹課	学校教育課
関係課	

2025年度の取り組み

- 各学校において、校舎内外、設備、外構など施設全体のいたるところの修繕や改修を行った。
- 中学校において防犯対策施設整備工事を実施した。
- 滑津小学校及び吉子川小学校において、体育館トイレ改修工事を実施した。
- 中学校において長寿命化事業の一環で受水槽更新及び校内消火栓更新工事を実施した。
- 中学校の大規模改修事業は実施に至らなかった。
- 村内小中学校においてGIGAタブレットの更新を実施した。
- 村内小中学校においてGIGAタブレット環境のネットワーク改善業務を実施した。
- 村内小中学校において教員が利用している校務PCと校務支援PCの統合化(パソコン1台にする)を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 警察直通の通報装置や防犯カメラ、校内インターホンを設置して通信網、防犯対策を向上させた。
- 各小学校の体育館トイレのバリアフリー化、男女別の専用室、多目的トイレ確保により避難所としても機能強化が図れた。
- 中学校の長寿命化が図れた。
- 本村も少子化が進んでおり、現行規模の学校施設が必要であるか、子供の数に反比例し時間の経過とともに老朽化していく施設の維持に要する経費は嵩んでいくことなどを考慮し、今後の学校施設の在り方や施設の維持について検討が必要である。
- 各小中学校共通で、プールサイド修繕の要望が出ているため、今後状況に応じた対応を取っていく。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
防犯対策施設整備工事(中学校)	1,782	吉子川小学校プール安全対策工事	517
滑津小体育館トイレ改修	10,175	GIGAタブレット更新事業	26,035
吉子川小体育館トイレ改修	10,450	ネットワーク改善(アセスメント調査)	1,898
受水槽更新及び校内消火栓更新	31,437	ネットワーク改善(改良降雨時)	7,656
FF暖房機更新工事(小中学校)	6,221	校務PCと校務支援PC統合化	20,867
照明LED更新(幼稚園・中学校)	7,590	合計	124,574

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
中学校大規模改修	目標値	100	—	—		
	実績値	100	—	—		
	達成度	100.0%	—	—		

今 後 の 取 組

- 学校内だけでなく近隣の安全面にも配慮した学校運営を行っていく。
- 園舎・校舎等の定期的な調査及びメンテナンスを行い、長寿命化を図っていく。
- 児童生徒減少に伴う統廃合も踏まえ修繕箇所を精査しながら財源確保に寄与していく。
- 大規模改修ではなく必要な箇所の修繕を実施していき、現状の施設運営を行っていく。
- 昨今、学校プールの在り方について議論されており、少子化や維持費などの問題に対して集約化や他施設の利用などが挙げられているため、本村においても検討していく。
- 当面、自校プールを使用していくので、安全対策を怠らないよう注意する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策7 幼児教育の充実
施策主幹課	幼稚園
関係課	保育所、学校教育課

2025年度の取り組み

- 幼稚園・保育所・小学校との交流や情報の共有を図った。
- 合同研修会や授業参観等をして、校種間の連携を図った。
- 教育委員会主催の特別支援教育研修会へ参加した。
- 2歳児が幼稚園へ訪問し、遊ぶ機会をつくった。
- 幼稚園就園前の2歳児について、情報共有を実施した。
- 日々の保育活動や体験活動の充実を図った。
- 地域の資源や人材等の活用した保育活動をした。
- 専門講師を招聘しての保育活動をした。
- 安全性と価値の高い環境の整備をした。
- 教材教具を充実させた。
- 園内・園外研修や先進園視察など、研修の充実を図った。
- ゲストティーチャーを活用した。
- 小・中学校との合同研修や各種会議に出席した。

施策の評価

総合評価

A

- 幼保小との情報交換や交流会を通して、共通の考え方や指導体制等発達や学びの連続性を確保することができた。
- 幼小との連携で「支援を必要とする子どもへの理解と対応」について情報共有を図ることで、それぞれの立場で今後活かして行ける知識を得ることができた。
- 幼稚園訪問によって、子ども達の不安を取り除き、期待感を膨らませることができた。また、情報を共有することで、切れ目のない保育につながってきている。
- 年間計画に基づいた自然・社会体験活動を実施し、豊かな感性と規範意識の醸成を図ることができた。
- 地域人材を活用して保育活動を行うことで、教育活動の充実と特色ある幼稚園づくりができた。
- 英語教材を導入し、幼児期から楽しみながら英語に親しむことができると共に、リスニング力を養うこともできた。
- 発達段階に合った知育玩具を活用することで、園児の思考力や想像力等多くの学びを経験することができた。
- 計画的な施設修繕を実施し、安全な教育環境整備に努めた。
- 先進園視察をし、そこからの学びを園の教育に活かし職員の指導力の向上が図られた。
- 様々なゲストティーチャーを活用して、幼児教育の充実や教師の指導力向上に努めた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
専門講師招聘	95	教材教具	1,480
体験活動	969	研修の充実	106
施設整備工事	10,604	合計	13,254

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
自然体験・社会体験活動 (回/年)	目標値	9	9	9	9	9
	実績値	9	11	11		
	達成度	100.0%	122.2%	122.2%		
郷土教育の実施回数 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1	1	1		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
幼保小の情報交換会 (回/年)	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	5	5	5		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

今後の取組

- 幼児期における発達や学びの連続性を確保するために、保育所・小学校との連携・交流に努める。
- 子どもの興味・関心・発達段階に即した指導を工夫し、学年の終わりまでに育てほしい姿に近づくよう、環境や遊びを通した総合保育活動の充実に努める。
- 幼稚園教育は環境を通して行われることから、園舎等の維持管理に努め安心・安全な環境整備すると共に、価値の高い教材教具の充実に努める。
- 質の高い保育活動を行うために、自己研修や先進園視察、ゲストティーチャーの活用、小・中学校との連携による研修会等により、指導力及び資質の向上に努める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策 8 子どもの健全育成を目指す児童館運営の充実
施策主幹課	児童館
関係課	

2025年度の取り組み

- 日中保育する者のいない家庭の小学生（1～6年生）を対象に事業を実施した。各種感染症対策等、児童館の施設を有効活用しながら適切な遊び場や学習の場を与えて健全育成を図るとともに、保護者や小学校との連携を図りながら、個々の育ちの状況を理解し個々に応じた育成支援を展開してきた。
- 2025年度入所児童数 101 名（4/1 現在）
- 途中登録児童数 5 名
- 一時利用児童件数 297 件（登録者数 18 名）
- 小学生対象の「中島ジュニアクラブ」と、未就学児対象の「なかじまキッズクラブ」を通し、村内探検、ボウリング大会、ボルダリング体験、スケート教室、音楽教室、ヨガ教室、体操教室、バルーンショーなど、様々な体験活動を実施することができた。
- 学習支援の3つの柱である①年間を通した学習支援（放課後児童クラブと中島ジュニアクラブの学習支援）、②長期休業中の学習支援（小4～6、中1～3）、③土曜学習による学習支援（中3対象）を児童館と村の施設を有効活用して、地域の方々や近隣の高校生や大学生ボランティアの協力を得ながら、充実した事業を展開できた。参加した児童・生徒に「参加して良かった」「集中して課題に取り組めた」という感想が聞かれるなど、大きな成果を上げることができた。
- 職員の資質向上を図るために各種講習会に参加した。今後も有事の際、冷静に的確にそして迅速に対応できるよう職員のスキルアップを目的とする。

施策の評価

総合評価

A

- 下校時間が遅くなり留守番できるようになったため等の理由で、一時的保育への切り替えをする児童が多かった。一時的保育の実利用児童数は 26 名だった。
- 生活スケジュールに基づき支援を行うことにより、基本的な生活・学習習慣の形成と社会性の醸成を図ることができた。
- 親子や他校児童との交流、異年齢交流、地域の方々との充実した活動が地域の多くのボランティアの協力のもと行うことができ、子ども達やボランティアに参加した生徒の豊かな情操を育むことができた。また、高齢者との活動（伝承遊び）を体験することができた。
- 小・中学生のニーズに合った学習支援を展開することができた。
- 特別支援研修会、AED 講習会、不審者対応講習会等に参加し、資質向上を図ることができた。今後も有事の際において冷静に的確にそして迅速に対応できるよう、各種講習会を受講することで職員のスキルアップを図りたい。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
子ども子育て支援国庫補助金 (放課後児童健全育成事業)	8,608	中島ジュニアクラブ・なかじまキッズ クラブ講師謝礼	176
子ども子育て支援県補助金 (放課後児童健全育成事業)	8,412	学習支援事業(小中学生合算)	1,642
		各種研修会参加費	9
児童館体験事業	245	合計	19,092

事業業績評価指数(KPI)

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
児童クラブでの体験交流 活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	20	20	20		
	達成度	80.0%	80.0%	80.0%		
小学生及び未就学児体験 交流活動(回/年)	目標値	25	25	25	25	25
	実績値	25	25	25		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
学習会の満足度アンケート (%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績値	87.6	90.2	80.3		
	達成度	109.5%	112.8%	100.4%		

今後の取組

- 児童クラブ運営の質的向上を図るための、運営内容の見直しと検討。
- 各種感染症対策に対応した事業展開。
- 児童館ならではの体験交流活動の実施についてさらに検討する。
- 子どもがやりたい自由遊びを自ら選択させる。(継続中)
- 小中学生の学習意欲の向上・継続に向けた運営の工夫、改善。
- 学習支援の地域ボランティアの発掘と、継続して参加したいと思えるような活動内容の工夫。
- 児童館職員の質的向上を図るために、各種研修会に参加する。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策9 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2025年度の取り組み

- 中島村文化団体連絡協議会への活動支援を行い、各団体の自主的な文化芸術活動を促進した。
- 各種教室（書道、絵画、ナイスレディ学級など）やクラウン大学県外研修旅行（足利・館林方面）を開催し、村民へ多様な学習機会を提供した。
- 生涯学習センター輝ら里のギャラリーを活用し、村民やサークル（エコクラフトサークル等）の作品を常設展示した。
- 子供会育成連絡協議会活動への支援や、輝ら里図書ボランティアの活用など、地域全体で子どもを育む環境づくりを推進した。

施策の評価

総合評価

A

- 各種文化団体の活動成果を発表する場を支援し、村全体の文化振興と交流に繋げることができた。
- 村民が生きがいをもって学びを深められるよう、各種教室を年間を通じて安心＆安全な環境で開催することができた。参加者の意欲も非常に高い。
- 身近な場所で文化芸術に触れる機会を継続的に創出できた。ギャラリー展示は新たな発表の場として着実に定着している。
- 地域住民やボランティアの協力を得て、子どもたちが地域社会の中で多様な経験を積む環境を提供できた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化団体連絡協議会補助金	430	村民文化祭事業費	713
常設展	23	子供会育成連絡協議会	340
文化講演会	829		
各種教室講師謝金	391	合計	2,726

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
新たな公民館事業回数 （回/年）	目標値	2	2	2	3	3
	実績値	2	0	0		
	達成度	100.0%	0.0%	0.0%		
公民館事業（ナイスレディ、クラフ ト、書道、絵画、英会話）の 事業回数（回/年）	目標値	62	64	66	68	71
	実績値	80	95	87		
	達成度	129.0%	148.4%	131.8%		

今後の取組

- 各サークルにおいて会員の高齢化が進行しつつあるため、次世代への継承や新たな文化団体の育成に向けたサポートを検討していく。
- 今後は、各種教室への参加経験の少ない層へ向けた新規講座の企画や広報活動の展開が必要である。
- 出品者の固定化を防ぎ、若年層を含めた幅広い世代の参加を促す工夫が求められる。
- 活動を支える担い手不足も見据え、誰もが無理なく参加できるネットワーク構築をさらに進める。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策10 生涯学習環境の整備・充実
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2025年度の取り組み

- 施設利用者が快適に過ごせるよう、特殊清掃や周辺緑化管理を計画的に実施したほか、図書室の天井見切縁細ビス止め工事を行った。
- 施設の安全性を高めるため、輝ら里の防犯カメラ増設工事や室内照明のLED化工事を実施した。
- ホームページ、広報紙、館内掲示、図書だより、図書室での新聞購読提供など、様々な媒体を通じて生涯学習情報を村民へ提供した。
- 幅広い世代のニーズに応える図書（一般・児童・雑誌等）の新規購入や、図書室マスター向けの景品準備など、読書意欲の向上を図った。

施策の評価

総合評価

A

- 施設の計画的な維持管理により、利用環境の向上が図られた。特に図書室の改修などを通じて、住民がより安心＆安全に学習・交流できる拠点が整えられた。
- 防犯カメラの増設と照明のLED化により、夜間利用者を含め、村民が施設を安心＆安全に利用できる環境が大幅に改善された。
- 輝ら里等施設内での情報提供体制を維持し、利用者の利便性を確保した。
- 図書の充実やイベントの工夫により、定期的に図書室を訪れる利用者の維持に繋がった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
図書室天井工事	2,178	図書購入費	828
特殊清掃・緑化管理等委託	804	新聞購読料	265
室内照明等LED化工事	1,155	図書ボランティア謝礼等	18
防犯カメラ増設工事	539		
図書普及推進費	64	合計	5,851

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
輝ら里利用者数 (村民に対する割合)(%)	目標値	17.5	17.8	18.1	18.4	18.7
	実績値	19.0	26.4	26.8		
	達成度	108.6%	148.3%	148.1%		
輝ら里図書室の貸出冊数 (村民一人あたり)(%)	目標値	3.4	3.6	3.8	4.0	4.2
	実績値	3.2	3.3	3.3		
	達成度	94.1%	91.7%	86.8%		

今後の取組

- 生涯学習の理念である「誰もが、いつでも、どこでも、学びたいときに学べる」学習づくりのために、住民のニーズを把握し、企画・運営の工夫により学習意欲を高めるプログラムを検討する。
- 引き続き利用状況を見極めながら段階的な設備充実を図る。
- 今後はデジタルツールのさらなる活用など、より効果的でタイムリーな情報発信手段を検討する。
- 特設コーナーの設置などを継続し、図書館のさらなる利用促進を図る。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策 11 文化財保護と伝統文化の継承
施策主幹課	生涯学習課
関係課	

2025年度の取り組み

- 村内の文化財の適切な維持管理のため、周辺の環境整備等を計画的に進める体制を維持した。
- 汗かき地蔵太鼓や櫓太鼓など、地域に根付いた伝統行事や文化活動が次世代へ継承されるよう、体験の機会を通じた支援を行った。
- 博物館学芸員の協力を得ながら、滑津小・吉子川小の児童を対象とした「四穂田古墳体験学習」を開催し、郷土の歴史を学ぶ機会を提供した。

施策の評価

総合評価

A

- 雑木等の伐採や草刈りなど関係者と連携しながら文化財の適正な保全に努めた。
- 地域文化に触れるきっかけづくりに貢献できた。
- 児童が文化財に直接触れる体験を通じて、郷土愛を育む優れた学習の場となった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
文化財維持修繕委託	120		
体験学習バス借上料	44		
		合計	164

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
伝統文化人材育成講習会 （回/年）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
四穂田古墳出土品体験学 習（回/年）	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	2	1	1		
	達成度	100.0%	50.0%	50.0%		

今後の取組

- 所有者や地域住民と協力した文化財・伝統文化の維持管理体制を構築していく。
- 少子高齢化による担い手不足への対応として、地域全体で伝統文化を支える仕組みづくりを図る。
- 出土品を活用した PR や体験事業を継続し、村民への理解を深める。

基 本 目 標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施 策 名	施策 12 生涯にわたるスポーツライフの推進
施策主幹課	生涯学習課
関 係 課	

2025 年度の取り組み

- スポーツ少年団への活動運営補助や、ふくしま駅伝、市町村対抗大会（野球・ソフト・ゴルフ）への支援を通じ、競技力向上と指導者の育成を図った。
- スポーツ推進委員の研修参加支援や、スポーツフェスティバルの着順測定業務委託などを通じ、地域スポーツの運営体制を強化した。
- 改善センターのグラウンド側溝浚渫工事や、アルミ指揮台・ランニングマットの購入等を行い、スポーツ施設の機能向上を図った。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 各種大会への積極的な参加を通じ、競技レベルの向上だけでなく、指導者や後継者の育成面でも着実な成果を上げている。
- スポーツ推進委員が中心となり、誰もが安心＆安全に参加できる大会運営が実現した。
- 適切な時期に備品の修繕や更新を行うことで、利用者にとって使いやすく安心＆安全なスポーツ環境が計画的に整備されている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
スポーツ少年団補助	411	改善センター駐車場照明設置工事	313
体育協会補助	668	改善センター浚渫工事	3,498
さわやか中島杯実行委員会補助	150	グラウンドトイレ外部配管改修工事	3,616
市町村対抗ふくしま駅伝補助金	1,700	ランニングマット購入	211
市町村対抗大会補助 (野球・ソフトボール・ゴルフ)	2,020		
スポーツ推進委員関係	319		
スポーツフェスティバル関係	2,369	合計	15,285

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
スポーツ推進委員研修会 (回/年)	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	4	5	5		
	達成度	80.0%	100.0%	100.0%		
スポーツレクリエーション活動 (回/年)	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	1	1	1		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
体育センター、改善センター、グラウンド利用者数 (村民に対する割合)(%)	目標値	33.0	33.0	33.0	34.0	34.0
	実績値	33.4	22.0	22.6		
	達成度	101.2%	66.7%	68.5%		

今後の取組

- スポーツ少年団等各組織の活性化に向けた支援を継続する。
- 児童館、社会福祉協議会、学校など地域と連携した安定的なスポーツ指導・運営体制の確保を引き続き進める。
- 改善センターの施設整備は基本設計を理想とするが、対応を急ぐ修繕箇所等を含む箇所を優先し、村民が使いやすいよう必要性に応じた段階的な整備を検討していく。

基本目標	1 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら
施策名	施策 13 人材育成の推進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 村民等が自ら計画又は参加する人材育成事業（研修等）を支援するため、事業等に要する費用の一部を補助する「中島村人材育成事業補助金」を実施しているが、今年度において実績はなかった。
- 年度当初の村広報やHPでの周知を行った。
- 人材育成事業として話し方・伝え方をテーマに、福島でフリーアナウンサーとして活躍する「鏡田辰也」氏を講師として招きセミナーを開催した。
- セミナー内容については、なぜアナウンサーになったのか、仕事をとおして大切だと感じたことなどを中心に講演いただいた。

施策の評価

総合評価

A

- 中島村人材育成事業補助金は、自己研鑽等を目的とした研修等に参加する者への補助で、平成30年度の開始以降周知を図ってきたがこれまで実績が無かったことから事業内容の変更、事業廃止を検討した。
- 人材育成セミナーは、村内企業や村民へチラシやポスターで周知を行い申込者を増やすことができた。また、セミナーの受講結果（アンケート）について、ほとんどの方が「良かった」との回答であった。
- セミナー参加者については、50人が参加し目標人数に達することができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
人材育成セミナー	220		
		合計	220

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
人材育成支援事業利用件数（件/年）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	0	0	0		
	達成度	0.0%	0.0%	0.0%		

今 後 の 取 組

- 人材育成は、事業見直しに伴い、新たな人材育成事業として、実務的なもので利用者が見込まれる資格等の取得費用の補助（中島村資格取得支援事業 対象経費の2／3、上限5万円補助）を令和8年度より開始する。
- 人材育成セミナーは予算の関係で令和8年度以降の開催予定なし。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策14 健康づくりの推進
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 生活習慣病予防・改善のための各種健診・がん検診、妊産婦健診、乳幼児健診を実施したほか、各種健診及び検診の受診勧奨にも努めた。
- 健診結果説明会を開催し、健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。
- 各種健診・がん検診の受診勧奨を実施し、保健指導が必要な者に対して、指導の徹底に努めた。

施策の評価

総合評価

A

- 各種健診・がん検診の受診勧奨、保健指導を実施し、疾病の早期発見・治療に繋げることができた。
- 健康に関する正しい知識の普及啓発と情報提供ができた。
- 受診勧奨に努めたことで、疾病の早期発見・早期治療に繋がられた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
各種健診・がん検診委託料	11,603	健康教育相談事業	30
妊産婦健診・乳児健診委託料	6,200	未受診者受診勧奨事業	3,531
乳幼児健診報酬・費用弁償	958	保健指導事業	52
特定健診委託料	4,086		
後期高齢者健診委託料	1,164	合計	27,624

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
特定健康診査受診率（％）	目標値	44.1	44.2	44.4	44.5	44.7
	実績値	44.1	51.7	48.1		
	達成度	100.0%	117.0%	108.3%		
特定保健指導実施率（％）	目標値	69.8	69.8	69.9	69.9	69.9
	実績値	69.8	65.0	71.9		
	達成度	100.0%	93.1%	102.9%		

今 後 の 取 組

- 1 か月健診費用助成事業を実施し、相談支援の場を拡充する。
- 今後も継続して健診結果説明会を実施していく。
- 健康なかじま 21 を有効活用して村民ひとりひとりの主体的な健康づくりを図る。
- 今後も受診勧奨に努め、受診率向上を目指す。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策15 豊かなシニアライフ
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 令和5年度に作成した第9期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の2年目で、計画に基づき事業遂行に努めた。
- 介護予防事業として、健康づくり交流センター輝らフィットにおいて、5月～3月に筋力スマイルクラブを行った。
- 10地区で実施している「ミニデイサービス事業」は健康推進員が中心となり年2回程度各地区公民館で開催する目標であったが、限定的な地区に限った事業実施となった。
- 各地区において、地域住民主体のサロン活動を実施した。
- 介護保険サービスでは補えない支援事業として有償ボランティア「中島よかっぺ助け隊」の活動を実施した。
- 月に1回認知症カフェを開催し、認知症の人が参加する場所作りと認知症の人に対しての理解を深めていく活動を行った。また、村内の小学4年生及び中学2年生に対し、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の正しい知識や認知症の人との付き合い方などについて研修を行った。
- チームオレンジの取り組みとして、傾聴ボランティアを立ち上げた。

施策の評価

総合評価

A

- 第9期介護保険事業・中島村高齢者保健福祉計画の2年目であったが、介護保険給付費については、計画の数値とかけ離れたサービスも見られたが、おおむね計画通りであった。
- 高齢者保健福祉計画においては、計画通りに進まなかった事業も見受けられたため、計画的な事業遂行に向けて検討していく必要がある。
- 例年から筋力スマイルクラブの申込状況は人気があり参加状況も良好。介護予防に繋がっていると考えられる。
- 各地区のふれあいサロンの活動促進及び参加者数増加を目的に、助成金を交付している。助成金は、サロンで行うイベントの経費や村文化祭に出品する作品の費用などに活用され、サロンの活動促進につながった。
- 有償ボランティア「なかじまよかっぺ助け隊」の利用者数が昨年度よりも増加し、利用件数も増している。有償ボランティア事業が住民に浸透しつつある。また、ボランティア登録者数増加に向け、ボランティア養成講座を今年度も実施している。
- 認知症カフェでは、認知症本人が参加していない点が課題であるが、認知症予防の観点からは、その役割を十分に果たしている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
筋力不マイルクラブ（65歳以上）	3,690	在宅医療・介護連携推進事業	554
ステップアップ教室	1,205	生活支援体制整備事業	6,496
ふれあいサロン	60	認知症総合支援事業	3,185
介護予防ケアマネジメント事業	1,398		
包括的・継続的ケアマネジメント事業	3,668	合計	20,256

事業業績評価指数（KPI）

※「要介護認定推計値」は低い方がよい。

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
要介護認定推計値（％）	目標値	14.2	14.2	14.1	14.0	13.9
	実績値	15.2	16.2	17.3		
	達成度	93.0%	85.9%	77.3%		
ステップアップ教室参加人数（人/年）	目標値	28	28	29	29	30
	実績値	25	22	23		
	達成度	89.3%	78.6%	79.3%		

今後の取組

- 第9期介護保険事業計画及び中島村高齢者保健福祉計画に基づき、3期3年間介護給付費の適正化や適切なサービスの提供を行っていく。
- 第10期介護保険事業計画を令和8年度で策定する。
- 健康づくり交流センター輝らフィットを有効に活用し、村民の健康づくりの推進を図る。
- それぞれのふれあいサロン事業に関わるリーダー育成、参加者の拡大を図る。村全地区での開催を引き続き目指していきたい。
- 引き続き有償ボランティアの周知、内容の充実を図っていく。
- 認知症本人がカフェに参加できるような声掛け、周知に努める。

基本目標	2 みんながいきいき暮らせるむら
施策名	施策16 障がい者への支援
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 福祉サービス希望者には、村で委託している相談支援事業所がサービス利用計画を作成してもらい、希望通りに合った支給決定を行った。
- 相談支援・活動支援事業所への委託事業によるサービスの提供を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 福祉サービスは希望通りに支給決定を行っている。
- 白河地域で設置している基幹相談支援センター及び各相談・活動支援事業所との連携により、相談支援体制の強化が図られている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
障害福祉サービス費等	136,018		
相談支援事業	2,908		
		合計	138,926

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
福祉サービスの利用者数 (人/年)	目標値	41	42	43	44	45
	実績値	41	43	42		
	達成度	100.0%	102.4%	97.7%		
相談支援参加者の満足度 を測るアンケート実施 (回/年)	目標値	-	-	-	-	1
	実績値	-	-	-		
	達成度	-	-	-		

今 後 の 取 組

- 適正な福祉サービス利用を行っていく。
- 基幹相談センターを中心とした各事業所等との連携による相談支援体制を継続する。

基本目標	2 みんながいいきき暮らせるむら
施策名	施策17 見守りの強化・支援
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実を図る。
- 成年後見制度の理解促進を図り、関係機関向けの研修会を実施した。
- 西郡5市町村(白河市・西郷村・泉崎村・矢吹町・中島村)で構成するしらかわ地域成年後見推進会議を2回開催した。
- 社会福祉協議会を中心とした支援サービスの提供を行った。
- 健康推進員の研修会に合わせて介護予防・家族介護教室を行った。
- 虐待、ひきこもり、生活困窮、生活保護等の相談を受け、民生委員、包括支援センター、県南保健福祉事務所、サポートステーション等と連携しながら、相談活動を実施した。
- また、2023年度より、ひきこもり等自立支援事業委託をアネシス学院と契約を締結している。

施策の評価

総合評価

A

- 民生委員協議会、地域包括センター及び社会福祉協議会を活用したネットワーク体制の充実が図られた。
- 関係機関が研修会に参加したことで権利擁護支援体制の強化を図ることができた。
- しらかわ地域成年後見推進会議では、成年後見制度に関する課題や困難事例を市町村間で共有し、制度に関する理解促進を図ることができた。また、成年後見人の担い手不足が課題となっている。
- 成年後見人制度の講演会としては、地域の各サロンにおいて単発的な制度説明を行う時間を定期的に実施している。
- 在宅介護事業所を中心としたサービス提供により、家族介護者の負担軽減が図られた。
- 中島村地域包括支援センターの活用により、住民からの介護相談に対応した。
- 介護予防・家族介護教室では、食からはじめるフレイル予防について講演を今年度も行い、食生活を見直すなど自主的に介護予防に取り組む人が増えるような研修会を行っている。
- ひきこもり等自立支援事業の利用者は前年度4名だったが、令和7年度は3名の登録者で定期的に事業所で活動している。
- サポートステーションを利用して1名が就職した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
高齢者世帯訪問事業	25	介護予防福祉用具・住宅改修	1,111
緊急通報システム	494	介護予防・生活支援サービス事業費	9,924
権利擁護事業	2,107	民生児童委員協議会負担金	130
居宅介護サービス	110,645	ひきこもり等自立支援事業委託	329
居宅介護福祉用具・住宅改修	645	地域密着型介護サービス	23,946
介護予防サービス	6,538	合計	155,894

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
成年後見制度に関する講演会（回/年）	目標値	－	－	1	1	1
	実績値	－	－	1		
	達成度	－	－	100.0%		
家族介護教室の実施（回/年）	目標値	1	1	1	2	2
	実績値	0	1	1		
	達成度	0.0%	100.0%	100.0%		

今 後 の 取 組

- 見守りネットワーク体制を継続して行う。活動するボランティアスタッフの確保に努める。
- 年々変化する独居高齢者の情報収集及び整理を行う。
- 成年後見制度を必要としている方に早期でアプローチできるよう引き続き支援体制の強化に努める。
- 後見人の担い手不足の解消を目指して、法人後見の立ち上げを推進会議において検討を進める。
- 今後も保健福祉課が窓口となり、自立支援事業等各種サービスに繋げていく。
- 自立支援事業等各種サービスの PR を行っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 18 地域コミュニティの活性化
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2025年度の取り組み

- 他市町村からの転入者が行政区に加入するよう勧奨案内を役場窓口に設置した。
- 転入手続き窓口にて行政区加入チラシを設置し、広報に努めた。
- 行政区補助金、各役員報償を交付し活動支援を行った。
- ごみ集積所の新規設置・補修に関する助成金事業を開始した。

施策の評価

総合評価

A

- 転入者に対して最寄りの行政区、区長及び行政連絡員を紹介することにより、行政区加入の補助を行っている。
- 行政区加入のチラシを更新し、住民の方が分かりやすい内容に変更した。
- 各地区への補助金は、各地区とも地域活動に有効活用されている。
- ごみ集積所等の整備事業助成金として1件の実績があった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
行政区補助金	4,035		
区長、副区長、行政連絡員報償	1,933		
ごみ集積所等整備事業助成金	40	合計	6,008

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
全地区平均行政区加入率 (%)	目標値	72.0	72.1	72.2	72.3	72.5
	実績値	69.8	67.7	69.5		
	達成度	96.9%	93.9%	96.3%		

今後の取組

- 転入者に対して行政区というものを理解して頂き、加入の勧奨を行う。
- 行政区からの要望事項の確認を行いつつ、適宜助成可能な事業への対応を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 19 村民の行政参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2025年度の取り組み

●村ホームページトップにパブリックコメント欄のバナーを設置することにより住民から広く意見を募り、行政の公正さの確保と透明性の向上を図った。

施策の評価

総合評価

A

●「中島村乗合タクシー利用料金及び乗降場所の見直し」・「中島村投票区再編計画」・「中島村地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」についてパブリックコメントを実施し、住民から意見を募り、行政の公正さの確保、透明性の向上を図ることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
パブリックコメント募集 件数（件/年）	目標値	2	3	3	3	3
	実績値	2	3	3		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

今後の取組

●庁内で取組を推進するとともに、村広報や HP など様々な媒体を通じて、幅広い年代へ周知を図っていく。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 20 行政サービスのDX
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2025年度の取り組み

●中島村 DX 推進基本方針は、近隣自治体の先進計画を参考に、DX 事業を実施する総務課と方針策定を行う企画振興課にて打ち合わせのもと、2024 年 4 月 1 日に策定した。
令和 7 年度から村としての DX の進め方に対し、県デジタル推進課の支援を受けている。

施策の評価

総合評価

A

●計画通り基本方針を策定した。策定にあたっては、総務課及び企画振興課共同で内容を精査し、各課等に図ったのちに策定した。基本方針は、村ホームページに掲載している。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
DX 推進基本方針の策定 (未策定=0、策定=1)	目標値	1	1	1	0	0
	実績値	1	1	1		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

今後の取組

●福島県において 2025 年度中に県 DX 推進戦略が策定される。村では県の戦略を基に 2026 年度中に基本方針の改訂作業を行い、2027 年度より基本方針 Ver. 2 を開始する予定。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 21 職員の人材育成
施策主幹課	総務課
関係課	企画振興課

2025年度の取り組み

- 人事評価を会計年度任用職員を含め全職員に実施したことにより、職員の能力、実績等を的確に把握し、組織の活性化を図った。
- 勤務経験年数や新任管理職等役職に応じた研修を必修として実施した。
- ハラスメント研修等社会情勢に応じた研修を実施した。
- 例規編集等に係るシステムの研修を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 人事評価における管理者との面談等を通じて、職員ひとり一人が責任を持って自主的・意欲的に業務を遂行できるよう促すことができた。
- 評価を実施するにあたり、目標管理の基本的な知識、目標設定の方法等の研修が必要である。
- 評価者による評価のばらつきは職員の不公平感につながることから、統一した評価基準で実施できるよう、研修等を行う必要がある。
- 各々の職階、職務における研修受講により、自身の立場や役割を認識できている。
- ハラスメントの定義、種類等を再確認し、対応について認識できている。
- 例規システムの取り扱いなど、職務に必要な知識を得ることができている。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
ふくしま自治研修センター負担金	67	各種講師謝金	139
ふくしま自治研修センター研修旅費	133	合計	339

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 人事評価制度の客観性、信頼性、公平性をより一層確保するため、国・県等の機関を参考に充実を図っていくとともに、人事評価にかかる目標管理や評価についての研修を計画する。
- 業務において必要なスキルアップの研修や階級にあわせた研修を計画することにより、行政サービスの向上を図る。
- 対外的に対応する力やハラスメント防止等職場内の環境整備等に引きつづき対応していきたい。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 22 健全な財政の維持
施策主幹課	総務課
関係課	税務課、企画振興課

2025年度の取り組み

- eLTAX を活用した QR コード（eLQR）の普及・推進
- 口座振替納付の継続的推進
- コンビニエンスストア納付（身近なコンビニで 24 時間支払い可能）
- ふるさと納税業務を行う民間業者を今年度より変更し、更なるサービス拡大を図った。
- 2023 年度までの「ふるさとチョイス」「JREMALL（ジェイアールイーモール）ふるさと納税」に加え、「さとふる」「楽天ふるさと納税」への掲載を開始した。また、「ふるさとチョイス」の連携サイト「auPAY ふるさと納税」「セゾンのふるさと納税」「KABU&ふるさと納税」、「さとふる」の連携サイト「Yahoo! ふるさと納税」にも掲載され、昨年度より多くのポータルサイトに掲載した。
- 民間業者が独自に行っている「ふるさと納税を必ずすべき自治体（ふるさと本舗アワード SILVER 賞）」の 1 つに選ばれた。

施策の評価

総合評価

A

- 納税者の利便性の向上及び徴収率向上を目的に、コンビニ収納に加えて、eLTAX（納税者がインターネット等を利用して税金を電子的に納付する方法）を導入した結果、令和 7 年度は、特別徴収を除いた納付方法以外（現年度分）では、コンビニ収納 17.3%、eLTAX（共通納税）収納 9.5%、口座振替 46.3% と合わせて 73.1% が納付書以外の方法で税金を納入していることとなった。
- 返礼品価格の見直しを実施。価格を下げたことで寄付しやすくなり、寄付件数増加につながったと考える。
- ふるさと納税は、今年度は米の価格が高騰。その状況で、米の返礼品価格を周辺自治体よりも下げられたことで寄附件数が増加。全体の寄附金額を大幅に上げることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
地方税共同機構負担金	413	ふるさと納税基金積立	4,770
コンビニ収納業務委託費	274		
ふるさと納税申込サイト広告料	50	※ふるさと納税寄附 8,636,000 円	
ふるさと納税申込サイト手数料等	244		
ふるさと納税業務委託	3,438	合計	9,189

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経常収支比率(3ヶ年平均) (%)	目標値	83.5	83.2	82.9	82.6	82.2
	実績値	84.6	87.2	秋確定		
	達成度	101.3%	104.8%			
健全化判断比率 (3ヶ年平均)(%)	目標値	8.8	8.8	8.9	8.9	9.0
	実績値	8.0	7.6	秋確定		
	達成度	90.9%	86.4%			

今 後 の 取 組

- 利便性の向上については、費用対効果を念頭に置きつつ、介護保険、後期高齢での共通納税による収納など、様々な収納環境の整備を検討する必要がある。
- ふるさと納税ポータルサイトは 2025 年度に見直しを行い。1 社の連携を解除。連携解除に伴い、経費が削減されたため、再度寄附額の見直しを行う。
- 費用を要さない各種イベントに積極的に参加するほか、基準に則ったふるさと納税PR活動を行う。
- ふるさと納税向けの魅力的なお礼の品の種類を増やしていけるよう情報収集を行う。

基本目標	3 みんなで作り上げるむら
施策名	施策 23 男女共同参画
施策主幹課	総務課
関係課	

2025年度の取り組み

●中島村の行政付属機関等における各種委員会・団体等の女性委員の登用について、積極的な登用を啓発する通知を発出した。

施策の評価

総合評価

A

●組織への女性参画を促すことにより、引続き目標水準に近い比率を達成することができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
女性委員（役員）比率（%）	目標値	26.8	27.2	27.6	28.0	28.4
	実績値	24.2	25.8	24.2		
	達成度	90.3%	94.9%	87.7%		

今後の取組

●性別にとらわれることなく男女が共に政策・方針決定の場に参画することが重要であるため、委員会等における積極的な女性委員の登用を促していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 24 防災体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	建設課

2025年度の取り組み

- 毎月1日朝7時に、防災無線による安全広報を実施した。
- 小中学校での防災教室を実施し、防災意識の向上を図った。
- J-ALERT 受信機の更新を行った。
- 広報紙に防災特集の記事を掲載し意識の向上を図った。
- 福島県が泉川の浸水想定区域を作成したことに伴い、2025年度にハザードマップの更新作成を行った。新たに作成したハザードマップは2026年4月に全戸配布しており、村民へ啓発活動を行った。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進める。
- 2025年度は新たに3つの協定締結を行った。
 - ・村内土木業者3社（宮崎工務所、長田建設、小平建設工業）との協定
災害時における応急対策業務の支援に関する協定
 - ・三井住友海上火災保険株式会社との協定
損害調査結果の提供及び利用に関する協定
 - ・佐川急便株式会社との協定
災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定
- 広報紙防災特集記事の中で、各家庭での必要な災害備蓄品リストを掲載し意識の向上を図った。
- 新しい地方創成交付金を活用し、避難所生活の改善を図るため、間仕切りパーテーション、段ボールベット、仮設トイレの購入、備蓄品を保管しておくための防災倉庫1棟の建築を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 広報誌での防災関係記事の掲載、中島村登録制メールおよび防災・災害情報発信アプリにより防災意識が向上した。
- J-ALERT 受信機を更新して引き続き情報配信ができるようにした。
- 新たに作成したハザードマップを配布し、啓発活動を行うことができた。
- 県発注の急傾斜地崩壊対策事業を進めた。
- 新たに3つの災害時協定を締結して、災害時の協力体制の充実を図った。
- 2025年度は新しい自主防災組織の設立はなかった。
- 広報紙へ各家庭での必要な災害備蓄品リストを掲載したことで備蓄品の必要性について意識の向上が図れた。
- 発災時に避難所生活の環境改善を図るため、備蓄品を購入し有事の際に備えることができた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
メール配信システム使用料	528	間仕切りパーテーション購入	2,612
防災・災害情報発信アプリ使用料	106	仮設トイレ購入	2,574
J-ALERT 受信機更新	6,600	防災倉庫新築工事	2,585
ハザードマップ制作	1,320	合計	18,154

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も資料を配布し防災の呼びかけを継続する。
- 防災行政無線と SNS の連携により幅広く防災情報の発信ができるよう取り組む。
- 登録制メール及び防災・災害情報発信アプリの登録者数増加を目指す。
- 村民に避難所指定施設を周知していく。
- 必要に応じた防災情報発信をしていく。
- 今後も必要に応じ、ハザードマップの更新行い、村民に配布を行う。
- 引き続き急傾斜地崩壊対策事業を推進する。
- 自主防災組織設立を各行政区に働きかけていく。
- 防災・災害等の協定締結数を毎年度 1 つずつ増やしていくことを目標とする。
- 今後も広報紙やホームページ等に防災関係の情報を掲載していく。
- 毎年度、一度は広報紙へ自主備蓄啓発の記事を掲載する。
- 賞味期限や使用期限が切れた備蓄品を更新していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 25 消防体制の確立
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2025 年度の取り組み

- 2025 年度は 3 名の方が中島村消防団へ入団した。
- 消防団員確保のため、県南地方振興局と共に村内の企業に訪問し、要望活動を行った。
- 取得から年数が経過した岡ノ内、迎久保の小型動力ポンプを更新した。
- 元村地区に設置してある防火水槽躯体上部にコンクリートを打設し管理がしやすいように整備をした。
- 6 月：資機材操作訓練を実施
- 11 月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練を実施
- 1 月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練を実施
- 3 月：春の火災予防運動に伴う防御訓練を実施

施策の評価

総合評価 A

- 新入団員が少なかった。
- 小型動力ポンプを更新し消防力の向上が図れた。
- 防火水槽躯体上部にコンクリートを打設したことで、管理がしやすくなった。
- 6 月：資機材操作訓練を行い、団員の技術向上が図れた。
- 11 月：秋の火災予防運動に伴う防御訓練 二子塚地区で実施。
- 1 月：世界文化財防火デーにあわせて文化財防御訓練 川原田地区で実施。
- 3 月：春の火災予防運動に伴う防御訓練 滑津原地区で実施。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
小型動力ポンプ購入	4,488		
元村地区防火水槽躯体上部 整備工事	1,496		
		合計	5,984

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
消防団新入団員数（人/年）	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	4	3	3		
	達成度	80.0%	60.0%	60.0%		
防災・防衛訓練等実施回数 （回/年）	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	4	4	4		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

今 後 の 取 組

- 新入団員が増えるよう広報、啓発活動を行っていく。
- 老朽化により修繕が必要な施設の修繕を今後も行っていく。
- 消防自動車、消防用小型ポンプ等の機器の計画的更新が必要であり、更新する。
- 3地区での訓練と5月に福島県水防訓練の開催を予定している。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 26 防犯・交通安全の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2025年度の取り組み

- 防犯灯を村内2箇所に新設し、防犯対策を行った。
- 防犯診断を実施して、「防犯診断カード」、「火の用心」などのチラシを配布し注意喚起を行った。
- 防災無線放送により、なりすまし詐欺や車上荒らしの注意喚起を行った。
- 交通安全運動期間等の新聞広告や交通安全関係チラシの各戸配布など、交通安全の広報活動に取り組んだ。また、交通指導車を使い、村防犯パトロール隊による広報活動を行った。
- 交通安全運動期間中、村内主要道路2箇所と1事業所にのぼり旗を設置した広報活動及び滑津小学校による交通安全・防犯パレードを行い交通安全注意喚起を行った。
- 元村地区の見通しの悪い交差点付近にカーブミラーを設置した。

施策の評価

総合評価

A

- 防犯灯の維持管理は計画通り実施された。
- 防犯診断により、村民に対し注意喚起を行うことができた。
- 交通安全注意喚起看板等を設置し通行者の交通安全意識向上が図れた。
- 交通安全期間中の広報活動により交通安全意識向上が図れた。
- カーブミラー設置を行い、事故発生防止に務めた。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
防犯灯設置工事	214		
元村地区カーブミラー設置工事	132		
		合計	346

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
防犯灯新規設置個所数 (箇所/年)	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	9	3	2		
	達成度	90.0%	30.0%	20.0%		

今 後 の 取 組

- 防犯灯を毎年度 10 箇所新規設置を目標に取り組んでいく。
- 防犯灯について、各行政区の新規設置希望等を確認し、継続して整備していく。
- 防犯灯の新設及び維持管理については、今後も各行政区と連携し整備する。
- 防犯カメラについては設置が必要な場合に検討する。
- 今後も防犯診断を実施する。
- 白河警察署からの情報を早急に周知する。
- 今後も事故多発箇所に交通安全対策工事を実施を検討する。
- 福島県公安委員会管轄である信号機、道路規制等については、随時要望活動を行う。
- 交通安全運動期間中の広報活動を継続していく。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 27 医療体制の確保
施策主幹課	保健福祉課
関係課	

2025年度の取り組み

- 休日当番医・歯科医療の体制確保に努めた。
- 2023年度より、福島県で救急安心センターの運営を開始し協定を継続して締結している。#7119(救急電話相談)のチラシ配布や広報紙に#8000(小児夜間電話相談)と共に掲載している。
- 救急医療体制の確立を含め医師確保するため、白河厚生総合病院、白河病院、会田病院へ支援を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 2023年度より開始した#7119が40名以上の村民が利用した。前年より増加している。
- 病院等では、支援の成果があり医師確保に繋がった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
第二次救急医療運営費負担金	1,409	私的二次救急医療機関支援(白河病院)	1,020
初期医療対策事業(在宅当番医制事業)	218	救急医療体制維持に係る助成金(会田病院)	1,280
初期医療対策事業(休日歯科診療事業)	140	医療体制の維持・充実(厚生病院)	1,050
小児平日夜間救急医療事業負担金	131	救急医療体制維持に係る助成金(厚生病院)	1,500
救急電話相談運営負担金	102	合計	6,850

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 引き続き、#7119 のPRを広報紙等を活用しながら行っていく。
- 併せて小児平日夜間救急医療のPRも行っていく。
- 医療体制の維持・充実のための白河厚生総合病院への支援金が、2023 年度で終了予定だったが、3 年間の追加支援が決定している。それ以降については令和8年度中に支援方法を検討する。

基本目標	4 安全・安心して暮らせるむら
施策名	施策 28 風評被害払拭
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2025年度の取り組み

- 測定機器の定期メンテナンスを行い、住民からの要望に迅速に対応できる体制を整えた。
- 村民からの測定依頼に対して県南農林事務所及び福島県と連携し、測定対応を実施。
- 首都圏において村産品の販売等を行い、村産品の魅力をPRするとともに風評被害払拭に資する事業を行う団体を支援した。

施策の評価

総合評価

A

- 自家消費野菜等放射線量測定事業は、測定機器のメンテナンスを行うことで、村民がいつでも測定できる環境作りを行った。また、野菜以外の自家消費のものに対して柔軟に対応を行った。
- ブランド・イメージ回復支援事業について、3団体（2企業、1農業団体）において首都圏でのPRを実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
自家消費野菜等放射線量測定事業	440		
ブランド・イメージ回復支援事業	782		
		合計	1,222

事業業績評価指数（KPI）

KPI名	区分	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 自家消費野菜等放射線量測定事業は、村民から測定依頼があれば、都度対応を速やかに柔軟に行う。
- 風評被害払拭のため、ブランド・イメージ回復支援事業により村産品のPR事業を実施する団体の支援をしていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 29 道路の整備
施策主幹課	建設課
関係課	学校教育課

2025年度の取り組み

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、継続事業として実施している。
 - ・滑津後山線改良事業
全体延長L=1,300m 2025年度：改良工L=236m
- 道路管理者や警察と連携し、毎年通学路安全推進会議を開催。学校からの通学路における要望や危惧している点を実見し、道路管理者等に改善を要望するとともに、学校において交通安全教育を実施した。
- 上記点検により確認された要対策箇所について、補助事業を活用し、歩道整備事業に着手した。
(二子塚町畑線歩道整備事業 全体延長L=890m R7年度：改良工L=148m)
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 農道長寿命化計画に基づき、農作業の利便性向上と道路の長寿命化を図るため改良工事（アスファルト舗装）を行った。
- 村内農道のパトロールを行い、損傷箇所等の維持補修を行った。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 県道へアクセスする際の円滑な交通の促進が期待される幹線道路下記路線について、補助事業を活用し、用地補償・改良工を実施した。
 - ・滑津後山線改良事業（全体延長L=1,300m 2025年度：改良工L=236m）
- 通学路安全推進会議を通して、各関係機関との情報共有や道路状況の改善が図られている。
- 点検により確認された要対策箇所について、補助事業を活用し、歩道整備事業を行った。
(二子塚町畑線歩道整備事業 全体延長L=890m R7年度：改良工L=148m)
- 県道棚倉矢吹線整備の中島北工区早期完了に向け、県と一体となって事業の推進を図った。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望した。
- 2025年度に予定していた路線の工事が完了した。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全を確保した。
- 降雪時に除雪作業を実施し、安全を確保した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
幹線道路の整備(滑津後山線)工事	42,988	道路・橋梁の維持管理	6,735
幹線道路の整備(滑津後山線)補償	739	除雪作業	3,975
歩道整備 二子塚町畑線	25,454	農道改良工事	142,520
農道整備測量設計業務委託	47,529	合計	269,940

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
村道舗装率 (%)	目標値	94.9	94.9	94.9	94.9	94.9
	実績値	94.9	94.9	94.9		
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
農道長寿命化事業計画に基づく農道舗装率 (%)	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	61.0	80.0	79.6		
	達成度	67.8%	88.9%	88.4%		

今後の取組

- 引き続き補助事業を活用し、幹線道路(滑津後山線)の早期完了を目指し事業を進めていく。
- 今後も各関係機関の協力を得ながら通学路安全推進会議や交通安全教育を実施し、通学路の安全向上と事故防止に努める。
- 新たに中島松倉線及び滑津川原田線の歩道設置事業に着手していく。
- 県道泉崎石川線歩道新設の事業化に向け、県へ要望していく。
- 年次計画に基づき、引き続き農道整備を進めていく。
- 村管理の道路・橋梁について、定期的なパトロールを実施し、必要箇所の維持補修を行い、安全確保に努める。
- 降雪時には除雪作業を実施し、安全確保に努める。

基 本 目 標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施 策 名	施策 30 簡易水道施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関 係 課	

2025 年度の取り組み

- 水質検査業務委託を実施した。
- 本年度については浄水場逆洗ポンプNo.2 交換工事を実施した。
- 漏水調査を実施したことで、漏水箇所の把握に努めた。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施した。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 水源、浄水場、使用水栓の水質について、必須項目と任意項目の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めた。
- 浄水場等の設備や機器が老朽化すると、故障や水質悪化等による断水の高まることから、計画的な更新により未然に防ぐことで安全安心な水の供給に取り組むことができた。
- 漏水箇所を把握し、補修工事を実施したことで有収率の低下を防いだ。
- 第三水源及び浄水場等の維持管理業務委託を実施したことで、専門的な見地から適切な維持管理を実施することができた。また、施設を常時運転することで、有事の際にも使用できる体制を確保した。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
水質検査業務委託	1,551	代畑・松崎地区漏水調査業務委託	858
浄水場逆洗ポンプ No. 2 交換工事	10,945	簡易水道施設運転管理業務委託	8,448
		合 計	21,802

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
水道本管（石綿管）の更新 （％）	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値	13.6	13.6	13.6		
	達成度	90.7%	90.7%	90.7%		

今 後 の 取 組

- 引き続き水質の検査を実施し、水質の安全性の確保に努めていく。
- 機械設備を計画的に交換し、安定的に水を供給できる体制を確保を継続していく。
- 漏水箇所の把握及び水道本管の更新工事を検討していきたい。
- 施設の維持管理業務委託を継続実施し、適切な維持管理に努めていきたい。

基 本 目 標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施 策 名	施策 31 農業集落排水処理施設の維持管理
施策主幹課	建設課
関 係 課	

2025年度の取り組み

- 集落排水事業の適切な運用のため、施設の維持管理委託を行った。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール及び管路埋設部分の道路舗装の補修を実施した。
- 管路設備の進入水修繕を行った。

施 策 の 評 価

総合評価

A

- 処理施設維持管理を外部に委託することで、専門的な見地から適切な処理施設の維持管理に努めた。
- 各処理施設において、機器の更新を実施した。
- マンホール周辺の舗装面の補修工事を行ったことで、雨水等の混入を減らすことができた。

事 業 費 実 績 額

事 業 内 容	事業費 (千円)	事 業 内 容	事業費 (千円)
農業集落排水事業維持管理業務委託	18,744	管路設備修繕工事	10,848
施設維持補修工事	132,463		
管路埋設部路面補修工事	9,816	合計	171,871

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 今後も適切な農業集落排水処理施設の維持管理に務める。
- 各処理施設において計画的に機器の更新をしていくことで、安定的な処理運転に努める。
- 吉岡地区処理場の機能強化事業に向けて計画を行う。
- 舗装の修繕が必要な箇所を確認し、計画的に工事を行っていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 32 童里夢公園の整備・活用
施策主幹課	建設課
関係課	

2025年度の取り組み

- 公園維持管理における目視点検を定期的を実施した。また、遊具点検が法令化されたことにより年一回の点検を行った。
- 経年劣化により街灯が点灯してなかったので改修工事を行った。また、車止め開閉委託ができなくなったため、駐車場の防犯カメラ設置工事を行った。
- ヨカッペ時計やトイレ、噴水設備などの修繕を行い、公園の維持管理に努めた。
- 公園維持管理の中で、簡易的な遊歩道の補修を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 設置から 20 年以上経過する遊具も存在するため、定期的に点検を行い、修繕等検討していく必要がある。
- 駐車場等街灯の改修工事を行い、夕方以降駐車場等の街灯が点灯することができた。
- 駐車場に防犯カメラ設置し、未然に犯罪等の防止を図ることができた。
- 腐敗している木製階段や柵が見られるので、計画的に修繕・改修を行う必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
遊具点検	308	街灯修繕・防犯カメラ設置工事	3,569
公園設備修繕料	1,006	ローポール街灯修繕工事	1,430
		合計	6,313

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 遊具点検が法令化されたことから 2024 年度以降は毎年遊具点検を実施する。
- 劣化がみられる遊具等の計画的な修繕や改修を行う。
- 街路灯の修繕や防犯カメラの設置を行い、防犯機能を高める。
- 劣化が見られる遊歩道や木製階段等について、計画的に修繕・改修を行っていく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 33 農村公園及び地区公園の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2025年度の取り組み

●定期的にパトロールを行い、危険箇所等の点検に務めた。

施策の評価

総合評価

A

●経年による劣化がみられる農村公園が存在するため、適宜地域住民から情報収集を行い、適切に管理する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

●行政区からの要望等を参考に、農村公園の撤去・改修を検討する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 34 住宅環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2025年度の取り組み

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。
- 長寿命化計画に基づき、改修工事を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 耐震診断者派遣事業の公募を行った。今年度の申請数は0件だった。
- 長寿命化計画に基づき、改修工事設計業務委託を実施した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
耐震診断者派遣業務	312		
村営住宅修繕工事設計業務委託 (長寿命化計画)	12,408		
		合計	12,720

事業業績評価指数 (KPI)

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今後の取組

- 引き続き耐震診断者派遣事業の公募を行う。
- 広報紙等を活用し、耐震診断者派遣事業の周知を進める。
- 長寿命化計画に基づき、村営住宅の改修工事設計業務及び改修工事を行う。
- 今後も適切な村営住宅の維持管理に務める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 35 地域交通体制の充実
施策主幹課	住民生活課
関係課	

2025年度の取り組み

- 広報にてデマンド交通の案内を掲載した。
- 敬老会参加者及び中島ふれあいサロン、介護予防サービス利用者に、乗合タクシーについてのアンケートを実施。

施策の評価

総合評価 A

- デマンド交通は、高校生の利用者が減少しており、今後利用者の人数に合わせたバスの配車・巡回コース等見直しを実施した。
- 村外のスーパーマーケット等、各種施設の乗降場所を現在より増やし、乗合タクシーの利便性を図ってほしいとの回答があったため、アンケート内容を踏まえた乗降場所を設定した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
新多目的交通システム補助金	20,000		
		合計	20,000

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
乗合タクシー利用者数 (人/年)	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
	実績値	4,273	2,928	3,051		
	達成度	147.3%	97.6%	98.4%		

今 後 の 取 組

- 広報紙やホームページ等により、住民への周知を図り、デマンド交通の利用者の拡大を図る。
- 乗合タクシーの乗降場所の見直しを実施し、利用者の拡大を図る。
- アンケート結果を基に、乗降場所の追加を含め検討していく。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 36 環境への取り組み
施策主幹課	住民生活課
関係課	企画振興課

2025年度の取り組み

- 広報を通じて白河地方広域市町村圏整備組合から提供のあったごみ減量化に関する資料を用いて村民のごみ減量化・リサイクルに関する意識の向上を行った。
- 生垣整備事業について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 記念樹交付について、広報紙を活用し広く村民に周知した。
- 上期は10月、下期は3月に記念樹の交付を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 一部を除き、ごみを適切な袋に入れて捨てることによりリサイクルの促進、ごみの減量化を図った。
- 広報を活用し西白河管内のごみの発生量をお知らせし、リサイクルへの関心を深めた。
- 生垣整備事業補助を実施し、問い合わせがあったが申請件数は0件だった。
- 出生（9件）・新築（3件）に対する記念樹交付を実施。前年度比で、申請者数は減少した。
- 近年は少子化や、新築住宅の敷地面積が減少し、記念樹交付希望者が減少しつつある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
記念樹交付事業	61		
		合計	61

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
リサイクル率（％）	目標値	10.2	11.4	12.6	13.8	15.1
	実績値	9.2	16.8	未確定		
	達成度	90.2%	147.3%			

今後の取組

- 外国人の方にもごみの分別がわかりやすいような広報活動を行う。
- 白河地方広域市町村圏整備組合と連携し、ごみ減量・リサイクルに関する広報活動を行う。
- 生垣整備事業について、広報、ホームページにより周知し、住宅の新築があった方などへ個別通知を行う。
- 記念樹交付事業について、出生、新築において対象者漏れが無いよう周知及び確認に努める。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 37 移住・定住の促進
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025 年度の取り組み

- 昨年度作成した在庫があることから令和7年度は作成無し。
- 各種イベントでパンフレットを配布。
- 県外から移住し村で住宅を取得した者に対し10万円を交付する「中島村移住支援金」を継続実施
- 東京圏からの移住者（23区に勤務在住又は東京圏域（隣県）から23区に通勤）を対象とした国・県補助事業の「中島村移住・定住支援事業」について、これまでの1世帯100万円に子供1人あたり100万円を加算する改正を行った。

施策の評価

総合評価

A

- 移住、観光イベントでパンフレットを配布（100人超配布）し、中島村の移住PRにつなげた。
- 「中島村移住支援金」、「中島村移住・定住支援事業」共に対象者が無かった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	394

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
移住者数（人/年）	目標値	7	8	9	10	11
	実績値	8	11	13		
	達成度	114.3%	137.5%	144.4%		

※転入者アンケートの内、定住の意思があるもの（Uターンを含む）

今後の取組

- 中島村の魅力を伝え、移住希望者へ十分なPRができるようなパンフレット作りを進める。
- 移住者数は目標値を超えているが転出超過の状況は続いており、諸施策を通じ移住者の獲得に努める。
- 中島村移住支援金（村単独 県外からの転入（新築・中古住宅の取得 1 対象世帯あたり 10 万円）については廃止とし、対象者を同じく県補助を加えた事業（中島村住宅取得支援事業 1 対象世帯あたり最大 100 万円）を令和 8 年度より開始する。

基本目標	5 環境豊かで快適な住みよいむら
施策名	施策 38 移住・定住環境の整備
施策主幹課	建設課
関係課	

2025 年度の取り組み

- 空き家バンク導入に向けて、説明会や民間企業との打合せを通して情報収集を行った。
- 販売促進を図るため、近隣市町村へのチラシ折込により広報活動を行った。

施策の評価

総合評価 A

- 2016 年度に空き家調査を行い、村空き家計画を策定し、約 30 件の空き家が確認されている。当時空き家認定された家屋のうち、現在は管理されている家屋があることから、現在の移住・定住に活用できる空き家の実数を把握するためには再度調査が必要となる。
- 今後空き家バンク導入が必要となった際に速やかに導入できるよう、情報収集を行えた。
- 2025 年度については原山分譲地の契約数が 2 件であったが、問い合わせが数件あった。村外認知度が低いので、より周知できる手段を検討していく必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
原山販売チラシ	297		
		合計	297

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 村空き家対策計画を基に、空き家の現状把握を行い、村による管理が可能な空き家については、空き家バンク等を活用し、企画振興課移住担当と密に連携を図り、移住支援等に活用できるよう検討する。
- 他市町村の取り組みや、連携企業からの情報等を参考に、空き家バンクの導入が必要となった際に速やかに導入できるようにする。
- 原山分譲地の残り区画の早期完売を目指す。
- 若い世代・子育て世代の定住化を図るための施策を検討する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 39 土地の有効利用
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 国土利用計画見直しに向けた計画準備を行った。
- 令和元年度に農業振興地域整備計画の総合見直しが完了し、令和2年度より新しい農業振興地域整備計画を運用した。
- 年2回、農用地利用計画変更申出の受付を行った。
- 昨年度に森林整備計画（10年間）を策定したため今年度は修正等なし。

施策の評価

総合評価 A

- 国土利用計画の見直しに向け、業務委託による作業行程や費用等の確認を実施した。
- 農業振興地域整備計画は、農用地利用計画変更申出（用途区分変更）を2件受け付け、8月受付分（4件）は変更完了、2月受付分（1件）は、令和8年8月末までに変更見込みである。
- 中島村森林整備計画の修正等なし。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
農業振興地域の土地利用 状況（%）	目標値	97.1	97.2	97.3	97.4	97.5
	実績値	99.4	99.4	99.4		
	達成度	102.4%	102.3%	102.2%		

今後の取組

- 地域計画、既存の中島村農業振興地域整備計画、中島村第6次総合振興計画などの運用状況をみて、国土利用計画の見直しが必要な場合は迅速に対応できるよう準備を進める。
- 国土利用計画の見直し（更新）については業務委託により進めることとなるが、500万円超の費用が想定され、財政上の観点からも他村事業との調整を図り実施する。
- 農業振興地域整備計画の変更（用途区分変更）にかかるものについて、農用地における営農活動等に支障があるかを判断し、申出による農用地利用計画の変更手続き（年2回受付）を継続する。
- 適宜、中島村森林整備計画の改正を行う。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 40 農業の支援・振興
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 新規就農者や後継者等の確保・育成のため、国や県、JA等の関係機関と連携し、就農相談や経営に対する支援等を行った。また、既認定新規就農者に安定した経営を実践していくために経営状況に関して助言等の支援を行った。
- 令和6年度に策定した地域計画について、農地転用・耕作者変更等による更新作業を実施した。
- 農地の貸し手に対し農地流動化推進助成金を支給した。
- 農地中間管理事業による賃借権の設定（農地バンク）または、農地法第3条の規定による賃借権の設定を推進した。

施策の評価

総合評価

B

- 新規就農にかかる2件の相談があり、県南農林事務所と連携して青年等就農計画作成について支援を行った。提出された計画は令和8年度に認定見込みである。今後も情報提供、就農相談体制等の充実を図り、新規就農者等の確保に努める。
- 中島村における当初の地域計画については、現況での耕作者をもとに農地の利用を定めた形式のものとなっている。農家減少等を見据え、地域農家、農業関係機関との意見交換を交えながら更にブラッシュアップを進めていくことが求められている。
- 農地の貸し手に対し農地流動化推進助成金を支給した。
- 農地中間管理事業による賃借権の設定（農地バンク）または、農地法第3条の規定による賃借権の設定を推進した。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
農地流動化推進助成金	387		
		合計	387

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
新規就農者数（人/年）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0	0		
	達成度	0.0%	0.0%	0.0%		
認定農業者数（人/年）	目標値	75	75	75	75	75
	実績値	73	71	62		
	達成度	97.3%	94.7%	82.7%		

今 後 の 取 組

- ＪＡによる新規就農者（経営継承者）確保のための支援制度（※農業経営スタートアップ支援パッケージ）が開始されており、新規就農者の確保に向け連携強化を図る。
※新規就農希望者の農家等への研修派遣により、就農につなげる制度。
- 地域計画に定める地域農業を支える農家（担い手等）として、大規模経営農家等（認定農業者）のほか、中小規模農家、新規就農者等への支援策を充実させる。
- 農地流動化助成金について周知することで農地の流動化を推進し、認定農業者等に農地の利用集積が進むよう引き続き事業を実施する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 41 有害鳥獣への対応
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 猟友会に業務を委託し有害鳥獣の捕獲・駆除を行った。
- 農家から多く被害相談を受けているハクビシンやタヌキに関して、猟友会に情報提供を行いわなの設置を行った。
- 猟友会会員の減少対策として、2025年度から第一種銃猟免許取得補助を開始できるよう、要綱整備等を行った。
- 有害鳥獣の被害、目撃情報等の情報整理をおこなった。

施策の評価

総合評価

A

- 農家からの被害状況を受け、猟友会へ情報をつなぎ素早く対応することができた。
- 昨年度の被害や目撃件数が多い地域を中心にわなの設置を行うことで短い実施期間の中でもより効果的に事業を実施することができた。
- 猟友会会員の減少対策として、2025年度から第一種銃猟免許取得補助を開始した。今後、補助制度の周知を行い猟友会体制の支援につなげる。本年度については、過年度取得した2名へ補助金を交付した。
- 村内全域で目撃や被害が増加している。
- 猟友会で捕獲・駆除を行っているが、村内全体の被害状況や生息状況の整備を行うことが出来ていない。
- 村全体や地域ごとの対策を行うことが出来ていない。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
有害鳥獣捕獲業務委託	587		
狩猟技術向上等支援事業	120		
		合計	707

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- 農作物被害の相談が多いため、猟友会と協力し今後も被害防止に努める。
- 農作物被害の件数を減らすよう努める。
- 今後は猟友会とも情報を共有し体制の整備を行う。
- 猟友会への駆除依頼期間外でのハクビシン、アライグマ等の有害鳥獣の被害報告があることから年間を通じた対応についての検討を進める。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 42 企業誘致と雇用の確保
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 県内外企業に情報提供するため、県が作成する企業ガイドに掲載や県からの誘致場所照会への情報提供を行った。
- 村内の関係企業の本社訪問（県外5社）、県外本社の子事業所（1社）を実施した。

施策の評価

総合評価

A

- 村内の関係企業の本社訪問（県外5社）、県外本社の子事業所（1社）を訪問し、情報交換等を行った。
- 企業誘致を図るための県への情報提供等を行った。
- 企業誘致や拡大を図るためには、企業訪問を積極的に行い情報の共有や提供をすることにより、連携を強化する必要がある。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
		合計	0

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
村内企業訪問回数（回/年）	目標値	5	7	8	10	11
	実績値	2	6	6		
	達成度	40.0%	85.7%	75.0%		

今後の取組

- 企業訪問による情報交換等を進め、新たな企業誘致や工場等の設置（増設）の支援につなげる。
- 村内企業の訪問について、積極的に行い連携を強化することにより、雇用の創出や既存企業の事業拡大等を推進する。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 43 商業の支援
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- JRの観光イベントふくしまDC（デスティネーションキャンペーン 3年間開催）の開催に合わせ村内飲食店等での村記念品の配布により、PRにつなげることができた。
- 商工会事業への助成により、各種活動の活性化が図られた。
- プレミアム商品券発行補助したことにより、商工業の活性化が図られた。
- なかじま輝ら×2秋まつりの開催支援。

施策の評価

総合評価

A

- 本年度実施した事業において、村内飲食店等の一定のPRを図ることができた。
- 商工会事業への助成により、各種活動の活性化が図られた。
- プレミアム商品券発行補助したことにより、商工業の活性化が図られた。
- なかじま輝ら×2秋まつりの開催支援。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
商工会補助金	5,000	地域創生総合支援事業(サポート事業)	698
プレミアム商品券発行補助	2,912		
秋まつり補助金	3,500	合計	12,110

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
※施策目標なし						

今 後 の 取 組

- ふくしまDCは3年間実施することから記念品配布事業等を継続する。
- 魅力ある商店づくりを行う事業者支援を積極的に行い、特色のある商店の育成や誘致、村内外からの集客を目指すため地域商業の活性化を図る。
- 今後も商工会への助成を継続実施し、村商工振興に寄与していく。
- プレミアム商品券発行補助については、運用継続について検討していく。
- イベントの開催において、今後も商工会と積極的に関わり実施していくが、なかじま輝ら×2 秋まつりにかかる準備等については、現在、企画振興課が中心に進めているため、今後、商工会を主体とした企画にしていく。

基本目標	6 地域の活力を活かしたむら
施策名	施策 44 観光基盤の整備
施策主幹課	企画振興課
関係課	

2025年度の取り組み

- 観光資源として「狛犬」をピックアップし、前年度に続き県南9市町村合同での企画（おしゃべりこまいぬ探訪の旅）を実施した。中島村においては「川田神社」「羽黒神社」の2箇所。
- 愛知県常滑市で開催したトヨタグループサクスセールに参加し、中島村のPRを実施した。
- 福島再生加速化交付金を利用し、海外に向けた中島村の魅力を発信するため福島県の交流のあるマレーシア国サバ州より現地観光局、旅行代理店関係、大学関係者等を招致し、PR等をしてもらうための視察事業を実施、また海外向けのホームページ作成、PRボードの作成を行った。
- ふくしまDCに合わせた村記念品の配布事業（地域創生総合支援事業（サポート事業））を実施
- 村特産品のトマト甘酒の材料提供を行った。トマト甘酒は、村ふるさと納税の返礼品となっているほか、県内多くの直売所や道の駅で販売、製造事業所のインターネット販売でも取り扱っている。
- 新たな加工品としてブロッコリーを利用した製品（ブロッコリーパウダー）の試作に取り組んだ。

施策の評価

総合評価

A

- 海外に向けた情報発信のための事業や愛知県でのイベント、ふくしまDC等の複数事業を通じ、中島村のPRにつなげることができた。
- トマト甘酒は、様々な箇所でPRを図ることができた。
- ブロッコリーパウダーについては、県内における野菜果物での実績がある業者へ依頼した。試作品が完成し、きらっしえにおいて焼き菓子等に利用して試したが食味が課題となった。

事業費実績額

事業内容	事業費 (千円)	事業内容	事業費 (千円)
イベント出展料・旅費等	865	他観光関係旅費、消耗品	12
福島再生加速化交付金	2,594	トマト甘酒関連経費	59
地域創生総合支援事業	698	加工食品打合せ	3
狛犬関係	24	合計	4,255

事業業績評価指数（KPI）

KPI 名	区分	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
観光誘客入込数 (人/1～12 月)	目標値	19,300	19,600	19,900	20,200	20,500
	実績値	17,388	16,443	16,068		
	達成度	90.1%	83.9%	80.7%		

今 後 の 取 組

- 県南観光推進協議会（白河市、西白河・東白川郡で構成）の活動を中心とし、今年度において、ふくしまDC、狛犬事業等を通じてPRを強化する。
- 既存のトマト甘酒のPRを継続し、新たな特産品開発につなげる情報収集や支援を行う。
- 六次化につながる製品開発の検討を継続する。